



## 手話言語普及促進事業（新規）



【H31当初予算額 3,700千円】

保健福祉部障害福祉課自立支援G（029-301-3363）

手話への理解や普及を進めることにより、日常生活や社会生活において、手話を使って容易に必要な情報を得たり、コミュニケーションを取ったりすることのできる社会の実現を目指します。

### 【事業の背景】

- ・ 2018年9月に「茨城県手話言語の普及の促進に関する条例」を制定
- ・ 手話が言語であるという認識に基づき、手話を使う方もそうでない方も、相互に尊重し合いながら共生する社会を実現するため、手話の普及促進が必要



### ○手話言語普及啓発フォーラムの開催（1,700千円）

- ・ 手話が言語であることの認識を県民に広く啓発するとともに、手話を広く県民に普及させるためのフォーラムを開催

### ○手話奉仕員スキルアップ講座の開催（2,000千円）

- ・ 「手話通訳者」を養成するため、市町村が実施する手話奉仕員の養成講座修了者を対象として、手話通訳者養成講座受講レベルまでのスキルアップ講座を県内2か所で開催

※手話通訳者：手話通訳者全国統一試験の合格後に県へ登録  
（手話奉仕員が担えない医療機関や公共機関等での手話通訳を実施可能）



# 茨城助け合い運動推進事業（新規）



【H31当初予算額 60,585千円】

県民生活環境部女性活躍・県民協働課県民協働G（029-301-2175）

行政のみでは対応が困難な地域課題を解決するため、先進的な取組を行うNPO等に対する支援を実施するとともに、県民自ら身近な地域課題の解決に取り組んでいく県民運動を推進します。

## 1 提案型共助社会づくり支援事業（32,000千円）

- (1) 対象事業 急激な人口減少や超高齢社会から派生する喫緊の地域課題で、地域住民等の参加により解決が期待される事業（従来の助成制度等の対象とならない新規性・先進性のある事業等）  
【想定される分野】独居高齢者の見守り，居場所づくり，移動困難者の支援，子育て支援，子ども食堂，防災対策等
- (2) 対象者 NPO，企業等
- (3) 補助単価 50～500万円
- (4) 負担割合 ①1市町村区域の場合 （県1/3），市町村1/3，事業主体1/3  
②広域・全県区域の場合 （県2/3），事業主体1/3
- (5) 補助期間 最大5年（受益者負担等により自立した事業展開が図れるまでの期間）



## 2 新たな県民運動奨励事業（1,000千円）

- ・県民が安心して県民運動に取り組めるよう「茨城県県民運動保険制度」を創設（ボランティア保険等に参加できない任意の活動を支援）

## 3 チャレンジいばらき県民運動補助（27,585千円）

- ・身近な地域課題解決に向け、県民運動の推進組織である「チャレンジいばらき県民運動」に対し補助



## 住民避難力強化事業



【H31当初予算額 5,977千円】

防災・危機管理部防災・危機管理課防災G (029-301-2880)

水害時の「逃げ遅れ」を防止するため、治水の優先度が高い地域の住民を対象とした「マイマップ」や「マイ・タイムライン」の作成支援等を通じて、避難力の強化を図ります。

### 1 事業内容

- ・堤防未整備など治水の優先度が高い地域において、避難に対する住民の意識向上を図るため、ハザードマップの有無など地域の状況に応じ、ワークショップ形式で次の取組を組み合わせて実施
  - ①マイマップ作成（地域の危険箇所や安全な避難経路を記した地図を近隣住民同士で作成）
  - ②マイ・タイムライン作成（自分が水害時に何をすべきかを時系列に一覧表に整理）
  - ③災害・避難カード作成（避難のタイミングや緊急連絡先等を携帯可能なカードに記入）

### 2 対象地域

- ・特に治水優先度の高い地域  
（洪水予報河川、水位周知河川の重要水防箇所（28か所）に近接する地域）  
⇒ 上記①, ②, ③を実施
- ・治水優先度が高い地域  
（その他の河川の重要水防箇所（52か所）に近接する地域）  
⇒ 上記②, ③を実施

※H31年度中にすべての地域で実施完了予定



ワークショップのイメージ



# 防災対策調査・普及啓発等事業



【H31当初予算額 128,261千円】

防災・危機管理部原子力安全対策課企画・防災G (029-301-2922)

原子力災害時に迅速かつ的確に対応するため、避難用バス等配車オペレーションシステムの開発や、市町村の広域避難計画の策定支援・普及啓発を図ります。

## 1 避難用バス等配車オペレーションシステムの開発 (60,225千円) 【新規】

- ・原子力災害時において、住民の待機場所に最適かつ迅速に配車できるように、車両の配車依頼と配車可能報告を集約し、マッチング（配車計画）を導出するシステムを開発



## 2 広域避難計画の策定・普及啓発に係る市町村の取組に対する補助 (28,560千円)

- ・補助先：UPZ内14市町村
- ・補助対象：広域避難計画の策定に係る費用（普及啓発パンフレット，避難訓練，現地調査費等）
- ・補助率：10/10

## 3 地域防災計画改定委員会・原子力災害対策検討部会の運営等 (39,476千円)



# 県立高等学校改革プラン推進事業（新規）



【H31当初予算額 635,765千円】

教育庁学校教育部高校教育課高校教育改革推進室 (029-301-5248)  
教育庁総務企画部財務課施設G (029-301-5173)

地域のリーダーや世界へ飛び立つ人財を育成するため、併設型中高一貫教育校及び中等教育学校を新たに設置することとし、必要な教室等の施設整備を行うとともに、県内各地域の中等教育の多様化を推進します。

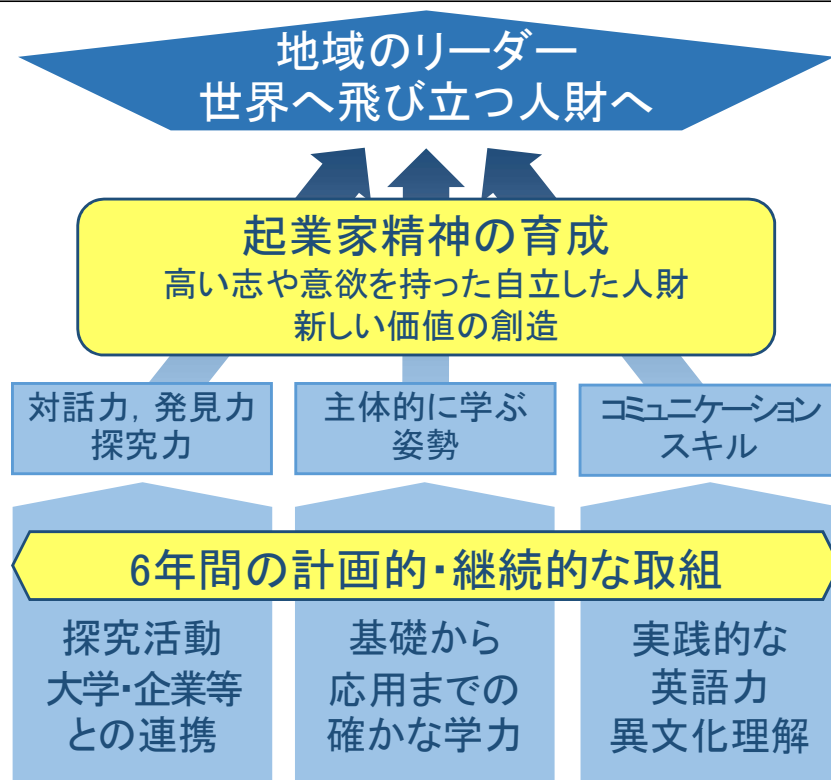
## ○事業内容

中学校併設に必要な、技術室整備や給食の実施に向けた運搬用エレベータ等の整備

※開校の前年度に整備予定（2019年度は2020年度開校の5校に整備）

## ○中高一貫教育校に改編する高等学校

区分	2020年度	2021年度	2022年度
併設型中学校を設置	太田第一 鉾田第一 鹿島 竜ヶ崎第一 下館第一	水戸第一 土浦第一	下妻第一 水海道第一
中等教育学校へ改編	—	勝田	—







【H31当初予算額 9,277千円】

教育庁総務企画部生涯学習課振興G（029-301-5318）

これからの茨城をリードする高校生が地域の課題を発見し、解決に向けた企画立案や実践を行う取組を通して、夢や希望を持つ心を育むとともに、自ら課題解決に向け行動できる力を養成します。

- 1 指導者（大学生等）の養成
  - ・ 高校生の意識改革を効果的に行うための能力を育成
- 2 指導者と高校生との対話
  - ・ 対話型ワークショップによる地域課題の発見
- 3 課題解決への挑戦（イノベーション）
  - (1) 戦略チーム（60チーム）の編成と企画の立案
    - ・ 大学生と高校生がチームを編成し、解決策を立案
  - (2) チャレンジ（実践活動）
    - ・ 優秀な企画案に対し、1チーム当たり10万円を提供し、企画を実践
- 4 プレゼンテーション大会（県大会）
  - ・ 実践活動をした戦略チームによるプレゼンテーション
  - ・ 企業、NPO、団体、行政機関等とのマッチングを実施
- 5 ステップアップチャレンジ
  - ・ 上位3チームに、先進企業への視察等、活動の補助
  - ・ マッチングした企業やクラウドファンディング等の活用により、継続的な活動を支援





# いじめ問題対策推進事業



【H31当初予算額 29,376千円】

教育庁学校教育部義務教育課生徒指導推進室 (029-301-5229)

いじめ等を早期に発見するため、新たにSNSを活用した相談窓口の開設について実証研究を行うとともに、県と市町村・学校が専門家と連携し、早期対応から解消まで一貫したサポートを行います。

## 1 いじめ・体罰解消サポートセンターの運営 (15,189千円)

- ・いじめ・体罰等を早期に発見し、解消までを総合的にサポート
- ・相談者は電話、来所、ネットにより相談（匿名相談も可）
- ※特に深刻な事案について、警察OB等の専門家を学校等へ派遣し、家庭訪問等を通じて解消を支援

## 2 SNS活用相談事業 (9,954千円) 【新規】

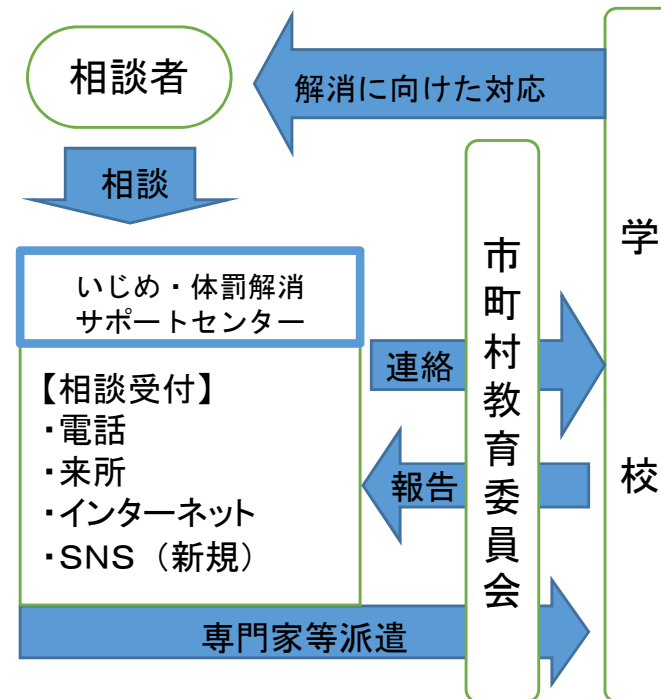
- ・内容：LINE等のSNSを使った相談窓口の整備（実証研究）
- ・時期：夏季休業明け前後40日程度
- ・時間：18時～22時

## 3 スクールロイヤー活用事業 (3,128千円)

- ・内容：弁護士（スクールロイヤー）によるいじめの予防教育

## 4 いじめ問題に対する広報・啓発 (1,105千円)

- ・内容：周知カードやポスターの作成・配付





## グローバル・サポート事業（新規）



【H31当初予算額 6,942千円】

教育庁学校教育部義務教育課指導G（029-301-5226）

市町村や関係機関、外部専門機関との連携強化を図り、日本語初期指導と支援体制を充実することで、将来、経済的・社会的に自立し、本県と母国の架け橋となるグローバル人財を育成します。

### ＜日本語初期指導の充実＞

1. 通訳・翻訳サポートスタッフ派遣  
（日本語指導教室のない小中高校）
2. 専門家等の派遣  
（日本語指導教室のある小中学校）
3. 電話相談対応  
（保護者・学校等を対象に週3回程度を想定）
4. 帰国・外国人児童生徒等ハンドブック改訂  
（日常生活・授業等でよく使用する会話文等を多言語で例示）

### ＜多言語翻訳システムの普及＞

無料翻訳アプリ等に関する各市町村への情報提供、活用呼びかけ

NPOなどへ  
業務委託



### ＜キャリア教育の充実＞

高校進学への機会を促進するための進路ガイダンスの開催  
（外国人児童生徒在籍10市町村程度）

### ＜関係機関や外部専門機関との連携強化＞

1. 地域の支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
2. 日本語指導担当教員研修会
3. 日本語指導ボランティアの登録





# 図書館魅力向上推進事業（新規）



【H31当初予算額 34,213千円】

教育庁総務企画部生涯学習課振興G（029-301-5318）

インターネット予約による遠隔地貸出サービスの構築や、市町村立図書館への図書搬送回数の充実により、利便性を向上するとともに、カフェスペースを整備し、県立図書館の魅力向上を図ります。

## 1 インターネット予約による遠隔地貸出サービスの構築

### ○図書搬送の回数増（5,870千円）

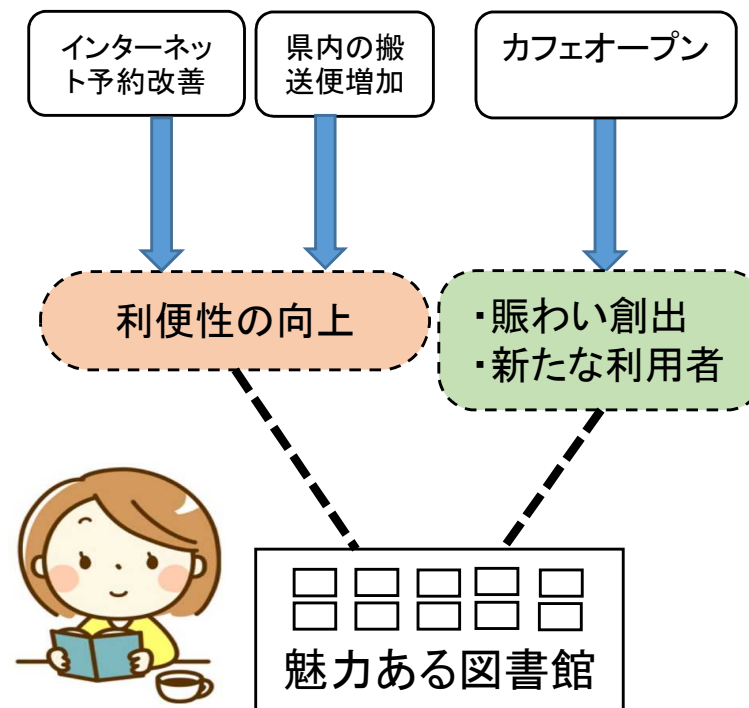
- ・2019年4月から開始
- ・県立図書館の蔵書を市町村立図書館の窓口で貸し出すサービスについて、搬送回数を週2回に増便（現在週1回）
- ・搬送回数増は連携市町村（費用負担市町村）から実施

### ○インターネット予約システムの機能追加

- ・2020年2月から運用
- ・県内市町村の図書館で、県立図書館の蔵書を貸し出せるよう、インターネット予約システムに機能を追加  
（現在のインターネット予約で貸し出せるのは、県立図書館カウンターのみ）

## 2 カフェスペースの整備（28,343千円）

- ・2019年度中にオープン予定
- ・館内の休憩コーナー等（100～120㎡）に民間業者を誘致し、カフェスペースに改装





# 多子世帯保育料軽減事業



【H31当初予算額 571,157千円】

保健福祉部子ども政策局子ども未来課保育G (029-301-3252)

子育て家庭に対する保育料の軽減制度を拡充し、第3子以降の3歳未満児に係る保育料について所得制限を撤廃することにより完全無償化し、さらなる少子化対策の充実を図ります。

○事業主体：市町村

○負担割合：（県1/2），市町村1/2

区分	対象施設	助成内容	所得制限
①第3子以降の3歳未満児	公立・私立認可保育所 認定こども園 地域型保育事業所	保育料無償化	所得制限撤廃【拡充】
②第2子の3歳未満児	同上	保育料を半額に軽減	利用者負担上限額基準の第4～5階層 (世帯年収約360万円～640万円)

現行制度(世帯年収約360万円以上640万円未満の世帯)

H31拡充

◆第3子以降の所得制限を撤廃  
(第2子は現行どおり)

	小学生以上←	→保育所等	3歳以上←	→3歳未満
<事例1>	第1子	第2子 ※ 全額	第3子 無償	
<事例2>	第1子	※H31.10.1～ 幼児教育・保育無償化予定	第2子 半額	
<事例3>	第1子	第2子	第3子 無償	



(参考)国の制度

第2子 : 世帯年収約360万円未満までは半額  
約360万円以上は同時入所の場合に限り半額

第3子以降 : 世帯年収約360万円未満までは無償  
約360万円以上は同時入所の場合に限り無償

未就学児



# 家庭的保育事業促進事業



【H31当初予算額 26,654千円】

保健福祉部子ども政策局子ども未来課保育G (029-301-3252)

家庭的保育事業（保育ママ）の増加・質の向上等を図るため、新たに子育てに関心のある方を対象とする事業参入促進セミナー及び保育者養成研修を開催するとともに、市町村へのコーディネーターの配置による運営上の不安の解消に取り組みます。

## 1 目的

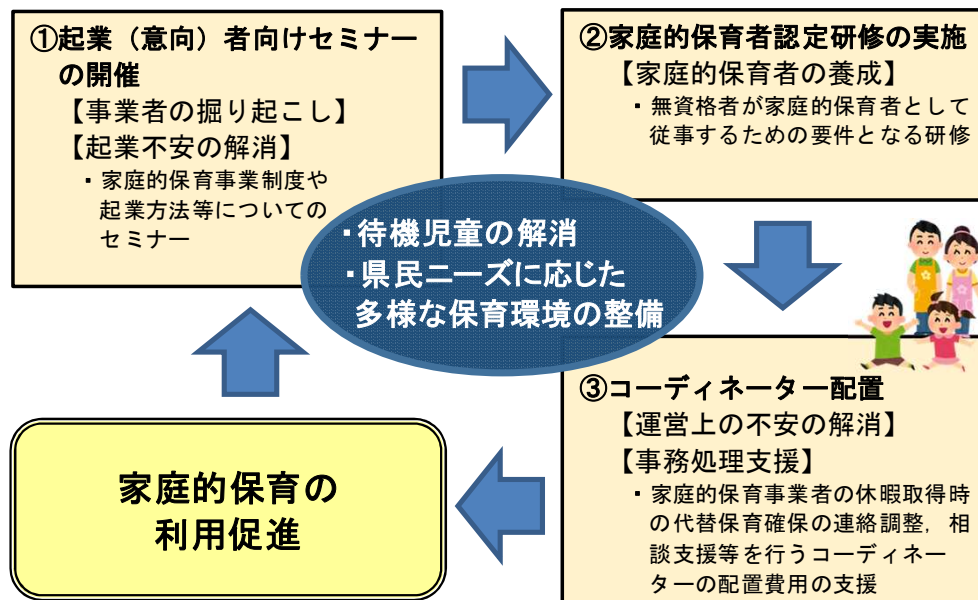
- 大規模な施設整備を伴わない保育の受け皿確保
- 参入の少ない家庭的保育事業（保育ママ）を促進
- 就業先の選択の幅を広げ、保育の担い手を確保

## 2 内容

- ① 起業者向けセミナーの実施【新規】  
人材の掘り起こし，意識醸成
- ② 家庭的保育者認定研修の実施【新規】  
家庭的保育者の養成
- ③ コーディネーター配置費用の支援  
実施主体：市町村  
負担割合：国1/2，（県1/4），市町村1/4

## 3 効果

- 事業者の増加 → 待機児童の解消
- 事業者の質の向上 → 県民ニーズに応じた多様な保育環境の整備





# 茨城県フラワーパークリニューアル関連事業（新規）



【H31当初予算額 198,558千円】

※H30最終補正予算額を含む

農林水産部産地振興課果樹花き・特産G（029-301-3954）

民間企業の経営感覚と自由な発想を活かして策定した魅力向上計画を踏まえ、フラワーパークを茨城の魅力を再発見・再発信することのできる観光拠点に一新し、観光客増加と地域経済活性化を図ります。

## 1 事業内容

- ・民間企業の経営感覚と自由な発想を活かした施設の改修等を実施

※フラワーパーク魅力向上計画のコンセプト  
「見る」から「感じる」フラワーパーク  
～「ばら」から始まる茨城再発見～

## 2 スケジュール（予定）

○2019年度（基本設計及び実施設計，施設整備の一部を実施）

- ・ワークショップ施設の整備  
（展示温室を体験型施設に改修）
- ・ロゴデザイン等制作業務委託  
（イメージ新のためロゴや看板を変更）

○2020年度（実施設計及び施設整備を実施）

- ・レストラン新設，ローズガーデン改修 等  
⇒リニューアルオープン

## 3 全体事業費

約18億円（地方創生拠点整備交付金を活用予定）

〈ワークショップ施設整備のイメージ〉



現在の展示温室



フラワーアレンジメントや木工細工等が体験できるワークショップ施設

〈レストラン新設のイメージ〉



現在の大温室（フラワードーム）



開放感あふれる空間で花や自然を感じながら本県の味覚を楽しむレストラン





# アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業



【H31当初予算額 700,000千円】

県民生活環境部生活文化課文化振興G (029-301-2824)

アクアワールド茨城県大洗水族館のリピーター確保と大洗周辺の夜型観光拠点形成を目指し、展示等のリニューアルを実施します。

## 1 事業概要

水族館の魅力アップのためのリニューアル内容

### ○夜型展示の導入（ナイトシーサファリ）

- ・クラゲの大水槽の設置や発光・蛍光生物の展示等（サンゴ、イソギンチャク等）
- ・館内のライトアップ、イルミネーション

### ○飲食ゾーンの新設（ナイトラウンジ等）

- ・ペアシート、カウンター、照明設備の設置等（屋外デッキ、アクアホールの改修）
- 若者の話題となりカップルが足を運ぶ空間の演出

## 2 スケジュール

2019年度：整備工事

2020年度以降：開館時間延長



館内イメージ①



館内イメージ②



屋外デッキイメージ



アクアホールイメージ





# 県北ニューツーリズム推進事業（新規）



【H31当初予算額 9,705千円】

政策企画部県北振興局振興G (029-301-2715)

県北地域に点在する多様な地域資源（自然，温泉，歴史・文化遺産，食，アクティビティ等）をつなぐことにより，新しい滞在・体験型のツーリズムを推進します。

## 1 県北ロングトレイルコースの設定等（7,235千円）

県北地域の多様な地域資源を，ハイキング道や林道等で一体的につなぐコースの設定

- コースの設計のための現地調査等
- トレッキング・ハイキング愛好者，メディア等によるモニターイベントの実施・情報発信

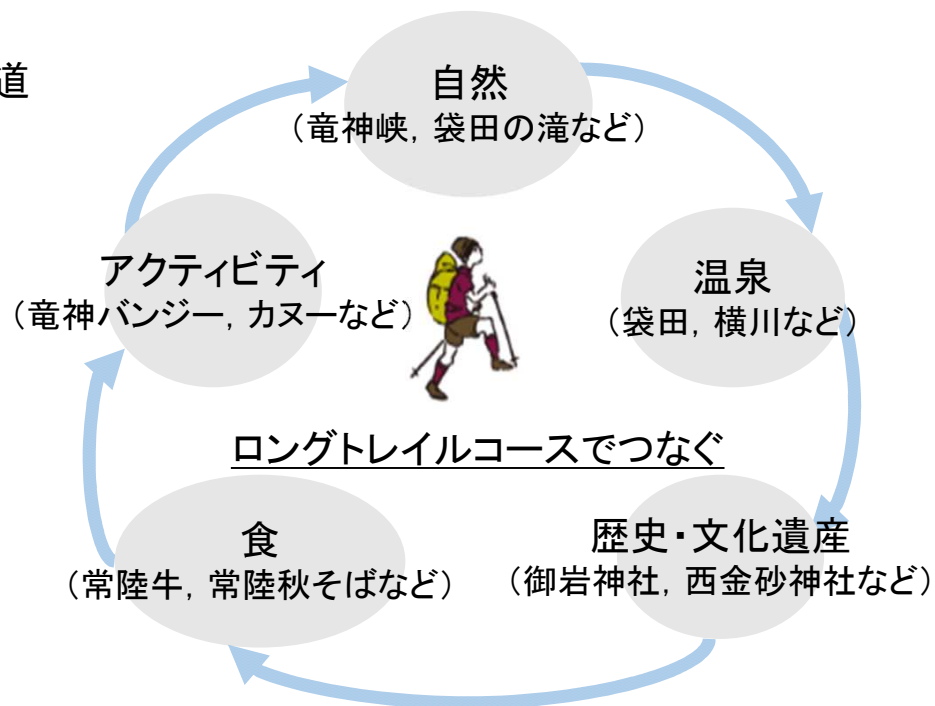
### ※ロングトレイル

登頂を目指す登山とは異なり，ハイキング道，林道等をつないだ長い道を，その土地の自然，文化，歴史等に触れながら歩くこと

## 2 ヘルスツーリズムの企画等（2,470千円）

ロングトレイルコースを活用し，ウォーキング，温泉，アクティビティ等を組み合わせた，県北地域で心身共に癒される旅行スタイルを企画・発信

- モニターツアーの実施・情報発信等





# いばらきサイクルツーリズム等推進事業（新規）



【H31当初予算額 12,225千円】

政策企画部地域振興課サイクリングプロジェクトG	(029-301-2735)
営業戦略部観光物産課観光戦略G・宣伝誘客G	(029-301-3617)
土木部道路維持課交通安全施設G	(029-301-4464)

各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを全県的に推進し、地域の活性化につなげるとともに、自転車活用の普及・啓発に取り組みます。

- 1 誘客の仕掛け（4,000千円）
  - ・モデルコース設定に向けた専門家の派遣，モニターツアー等の実施
  - ・サイクリングガイドの育成
- 2 多様な情報発信（2,000千円）
  - ・全県版サイクリングマップの作成
  - ・各種媒体等を活用した国内外への情報発信（※営業戦略部）
- 3 受入体制の整備等（1,000千円）
  - ・県有施設等へのサイクリングサポート体制の整備
  - ・安全で快適な自転車利用環境の整備（※土木部）
- 4 サイクリングイベントの開催（1,500千円）
  - ・歴史探訪ツアーやキャンプサイクリングなど多様な楽しみ方を提供するイベントの開催
- 5 自転車活用の普及・啓発（3,725千円）
  - ・自転車活用の可能性を探るシンポジウムの開催
  - ・県民へ自転車の活用を広く啓発するパンフレットの作成
  - ・市町村版自転車活用推進計画の策定支援

※以外は政策企画部が実施



＜地域の特性や資源を活かしたサイクリング(イメージ)＞



# 県庁舎維持管理事業（県庁舎展望ロビー改修分）（新規）



【H31当初予算額 61,308千円】

総務部管財課施設管理G（029-301-2387）

県庁舎の展望ロビー北側を、魅力ある空間にリニューアルし、より一層の利活用促進を図るための改修を行います。

## 1 改修のイメージ

- ・コンセプト： 「訪れる時間によって異なるムードを楽しめる空間」
- ・改修箇所： 25階展望ロビー北側
- ・改修内容：
  - 〈展望フロア〉
    - ・展望を楽しむためのソファ等の設置
    - ・昼夜の変化に対応した間接照明の導入
    - ・飲食を伴うイベントの開催に対応した防水性床材への更新
  - 〈カフェコーナー〉
    - ・厨房、客席設備の更新（モバイル対応の電源設置等）
    - ・夜は酒類を提供



## 2 スケジュール

2019年4月	5月	6月	7月中
実施設計	工事入札	改修工事等	供用開始(予定)



# メディア活用魅力発信強化事業



【H31当初予算額 233,308千円】

営業戦略部プロモーション戦略チームプロモーションG (029-301-2123)

テレビやインターネットメディアなど映像メディアを効果的に活用し、季節、旬に応じた茨城の観光資源（絶景、食、イベントなど）や特産品（県オリジナル品種、地域ブランド）などの情報をターゲットに応じて戦略的に発信します。

## ○首都圏ネットのテレビ局（在京キー局）を活用したPR（143,241千円）

- ①観光資源、特産品などの本県の魅力の情報発信を在京キー局で実施（毎週1回以上（本編2分他））  
※インターネット等での2次利用を展開
- ②在京キー局を中心とした魅力発信CMを放送
  - ・テーマを絞り30秒放送を集中的に実施（農産物など）



TVを中心とした魅力発信

## ○関東ローカルテレビ局を活用したPR（17,380千円）

- ・情報番組の放送枠の買取りによるPR（千葉・埼玉・栃木・群馬の各ローカルテレビ局で実施）

## ○メディアタイアップ（4,075千円）

- ・旅行系テレビ番組（関西地区）との番組タイアップの実施

## ○インターネットメディアを活用したPR（68,612千円）

- ・動画共有サイト（ニコ動、Youtube等）、海外サイト、インフルエンサーを活用した動画配信
- ・インターネットTV（Abema等）でのCM放送
- ・番組公式SNSとの連携（番組告知等）、映像の2次利用（いばキラTV等での配信）

インターネットを中心とした魅力発信







## 第74回国民体育大会推進事業



【H31当初予算額 4,939,211千円】

国体・障害者スポーツ大会局総務企画課総務G (029-301-5394)

45年ぶりに本県で開催する茨城国体の成功と、全国から来県する選手・監督などの関係者をおもてなしの心で迎えるため、式典の運営、宿泊施設の確保、競技会運営への支援などを進めます。

### 1 大会概要

- ・開催期間：2019年9月28日～10月8日（11日間）
- ・正式競技：37競技（陸上競技，水泳，サッカー，テニス等）
- ・参加者数：約70～90万人（選手団，大会関係者，観覧者等）



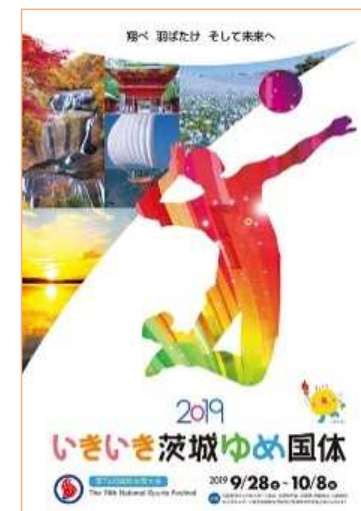
### 2 実施内容

#### ① 大会本体（県，実行委員会実施）の運営経費（2,660,198千円）

- ・式典関係：総合開閉会式会場の設営，演技等の式典の実施，会場警備 等
- ・競技関係：競技記録の収集・速報，参加受付，表彰状・メダル作成 等
- ・輸送関係：各県選手団等の配宿，選手・観覧者等の輸送・交通対策 等
- ・県民運動：運営ボランティア活動支援，花いっぱい運動の実施 等
- ・広報関係：大会パンフレットの作成，文化プログラムの実施 等

#### ② 競技会（市町村実施）への運営費補助（2,279,013千円）

- ・全市町村で実施する38競技（正式競技＋高校野球）等に補助







# 第19回全国障害者スポーツ大会推進事業



【H31当初予算額 2,172,523千円】

国体・障害者スポーツ大会局障害者スポーツ大会課大会運営G (029-301-5409)

本県で開催する第19回全国障害者スポーツ大会において、来県者をおもてなしの心で迎え、誰もが安全で快適に大会を楽しむことができるよう、競技会場等のバリアフリー対策や宿泊・輸送対策、各種ボランティアの養成・確保などを進めます。

## 1 大会概要

- ・開催期間：2019年10月12日～14日（3日間）
- ・正式競技：13競技（陸上競技，水泳，車いすバスケットボール等）
- ・参加者数：約9万人（選手団，大会関係者，観覧者等）



## 2 実施内容

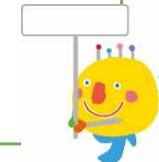
### <式典・競技会場整備>

- ・開閉会式実施業務の委託
- ・会場のバリアフリー対策の実施（多目的トイレ，スロープ等）



### <競技運営>

- ・リハーサル大会，本大会競技運営の委託
- ・競技用具の購入



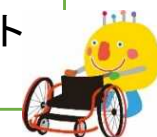
### <宿泊・輸送対策>

- ・障害者に配慮した宿泊施設への配宿
- ・障害特性に応じた輸送の実施



### <ボランティアの養成・確保>

- ・各会場への情報支援ボランティアの配置
- ・選手団の案内，介助などを行う選手団サポートボランティアの配置





# 全国都道府県対抗 e スポーツ選手権大会事業（新規）



【H31当初予算額 40,345千円】

国体・障害者スポーツ大会局総務企画課広報G（029-301-5402）

茨城国体の文化プログラムとして、全国初の取組となる都道府県対抗による e スポーツ大会を開催することで、誰もが国体に参加し楽しめる環境を創出し、機運醸成を図るとともに、e スポーツを通じて本県のイメージアップや地域振興・産業振興につなげます。

## 1 大会概要

名称：全国都道府県対抗 e スポーツ選手権 2019 IBARAKI

期間：2019年10月4日～6日（茨城県予選：4月～8月予定）

競技：ウイングイレブン2019（サッカー），  
グランツーリスモSPORT（レース），  
ぷよぷよ e スポーツ（パズル）

※ 大会の運営にあたっては、日本 e スポーツ連合、日本サッカー協会、各ゲームメーカー等との連携協力のもとで推進

## 2 実施内容

### ①全国都道府県対抗 e スポーツ選手権の開催（30,345千円）

- ・茨城県予選（県内地区予選＋代表決定戦）：運営、映像配信等
- ・決勝本大会：運営、映像配信、ドローイングイベント など
- ・大会と連動して行う茨城プロモーション：  
本県プロモーションビデオの制作・配信、県産品等PR など

### ② e スポーツ振興・関連産業の創出に関する調査（10,000千円）

- ・ e スポーツに親しむ場づくり、人材育成、関連産業の育成 など





# 東京オリンピック・パラリンピック推進事業



【H31当初予算額 716,484千円】

県民生活環境部オリンピック・パラリンピック課  
企画G (029-301-2790), サッカー競技G (029-301-2780)

本県における東京オリンピック・サッカー競技開催の成功に向けて、東京2020組織委員会等の関係機関と協力し、着実に準備を進めるとともに、市町村や関係団体等と連携して県内における聖火リレーの準備や、事前キャンプの積極的な誘致に取り組みます。

## 1 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備 (685,320千円)

- ・「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会茨城県推進会議」の運営
- ・茨城県都市ボランティア研修の実施
- ・県内聖火リレー、ライブサイト(※)の準備
- ・機運醸成イベント(開催1年前イベント等)の開催
- ・シティドレッシング(フラッグ等による装飾)の実実施計画策定

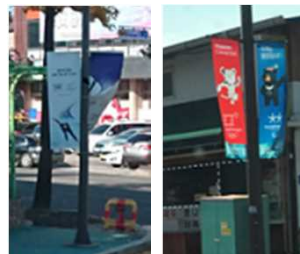
※ライブサイトとは  
大会の公式事業で、大型スクリーンを使用した競技中継、  
競技体験、ステージイベント等を実施



茨城カシマスタジアム



ライブサイト(イメージ)



シティドレッシング(イメージ)

## 2 キャンプ誘致の促進 (31,164千円)

- ・市町村に対するキャンプ誘致補助  
＜補助率＞1/2 (上限100万円)
- ・駐日大使館、各国競技連盟等に対するキャンプ実施の働きかけ
- ・ホストタウン交流事業(文化体験会等)の実施

(参考) 事前キャンプ誘致意向市町村数：29市町村、県内ホストタウン登録件数：9件



海外関係者による県内視察



# 都市間高速バスネットワーク強化事業（新規）



【H31当初予算額 57,700千円】

政策企画部交通局交通政策課地域交通G（029-301-2604）

県都水戸と国際研究学園都市つくばの都市間の交流・連携を促し、県域全体の活性化につなげていくとともに、インバウンドを含めた観光・ビジネス需要に対応するため、高速バスの増便実証実験に取り組み、交通ネットワークの強化を図ります。

## 1 高速バス増便実証実験（49,400千円）

○運行開始時期：2019年秋

○対象ルート：①水戸・つくば間高速バス

増便数(予定) 平日12便(6往復), 土日祝日8便(4往復)

②茨城空港シャトルバス 各2便(1往復)

台湾便接続(週2日), 韓国便接続(週3日)

## 2 利用促進の取組（6,300千円）

○周知・PR展開

○関係部局, 事業者等との連携

・観光周遊ルートの作成, バス利用者への特典等

○バスロケーションシステム導入

## 3 調査・検討, 事業評価（2,000千円）

○需要動向や利用実績の分析, 利用者アンケート等を実施し, 運行ルートやダイヤ等の見直しを検討

